

## プログラム開発から実践まで、環境教育指導者基礎研修 実施報告 1-2

<第2日目>環境教育指導者基礎研修その2

2006年12月5日(火) / 富山県総合福祉会館 701研修室

参加者：18人

ファシリテーター：本田恭子

### 《ねらい》

2日目はいよいよプログラムづくりです。企画の意図を明確にし、施設が持つ素材を洗い出し、対象者や実施の時期なども考えて環境教育プログラムを作ります。今日はまず、企画のポイントを押さえ、素案づくりにチャレンジです。プログラムづくりのおもしろさを感じていただけたら大成功！ 2日間の研修の流れ自体を、参加者の気づきから学び、そして行動へとつなげていく、環境教育プログラムとして構成しています。この流れを参考に、ユニークなミニ版プログラムができ上がることを期待します。

### 《研修のあらまし》

<1日目のふりかえり>

2回目からの参加者に、前回配布資料を配付し、各グループで作成した「環境問題マップ」を見ながら、前回の様子を振り返る。

<事例紹介>

先進他県で作成された環境教育プログラム集等を紹介し、どのようなプログラムが可能か、考えるヒントを提供。

<プログラム作り基礎講座>

プログラム作りのポイントについて、レクチャー。プログラム作りの「6W2H」を紹介し、良いプログラムとはどんなプログラムなのかを押さえる。楽しいのはもちろんのこと、目的がはっきりしていること、成果があらかになること等が大切であり、そのためには評価のしくみがポイントとなる。



<プログラムを作ろう>

同種の施設ごとにグループを作り、各グループでプログラムを作成するための話し合いをする。どのようなプログラムが良いかを討議し、その後、各自でシートに記入しながら、プログラムを作成する。